

のべおか道の駅4年目

3 駅の特徴生かし地域活性

延岡市内の三の道の駅「北川はゆま」「北浦」北方よちみろ屋」が経営統合され、管理運営する「のべおか道の駅株式会社」が発足して丸3年が経過した。発足からかき取りを任された高木亨輔社長は、毎日精力的に3駅全てを回るなどを徹底して現場にこたわる。4年目を迎えた高木社長、現状や今後の目標を聞いた。

高木亨輔社長に聞く



プロフィール(たかき・こうすけ) 富岡市出身。1946年生まれ。富島高校、香川大学卒業。卒業後は高木商店(現マルイチ)に入社。その後、都城市のスーパーの専務、鹿児島のスーパーの相談役を務める。2016年から道の駅「北浦」運営する北浦総合産業顧問。17年に「のべおか道の駅株式会社」代表取締役役に就任。延岡市南一ヶ岡在住、73歳。

生産者持ち込みの朝取れ野菜が強い 北方よちみろ屋

「道の駅北方よちみろ屋」は、北方延岡道路の起点近くに位置しています。北方町は野菜と果物の産地で、この駅が一番の強みは、生産者の方が朝収穫したばかりの野菜や果物を直接持ち寄りられることです。遠方からも多くのお客さまが買いに来られます。

地域の特産品、自然薯(じねんじゆ)を使った「自然薯そば」は、「自然薯もろみ」次郎柿の風味を生かした次郎柿きんつばは、使った商品の種類も増えています。

敷地内のキャンプ場は、バーベキューや自炊できる設備も充実しており、繁忙期には満室の状態です。



朝取れ野菜、果物が並ぶ店内

道の駅北方よちみろ屋

道の駅北浦

「いいで」でなく目的地 景色と海の幸が魅力 北浦

「道の駅北浦」は、敷地内の各施設から九州で一番きれいな阿蘇ヒトシを望めるという、美しい景観を誇っています。出掛けついでに寄っていただくのには、キャンプ場のテントをリニューアルしました。ハンモックなども付け、こちらも新たな名物となるように期待しています。

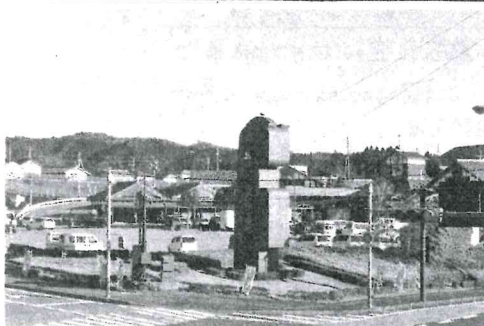
「道の駅北浦」は、敷地内の各施設から九州で一番きれいな阿蘇ヒトシを望めるという、美しい景観を誇っています。出掛けついでに寄っていただくのには、キャンプ場のテントをリニューアルしました。ハンモックなども付け、こちらも新たな名物となるように期待しています。



最後に今後の抱負をお願いします。 自分、スーパーマーケットの役員として、約50年間流通業界に携わり、友人の店舗の再建なども経験しましたが、三つの会社を統一するというのが初めての経験。かなりエネルギーのいる難しい仕事で、試行錯誤の連続でした。

朝食バイキングや生しらす丼が人気 北川はゆま

「道の駅北川はゆま」は、東九州自動車道の北川インターチェンジと国道10号のどちらからもアクセス可能で、立地条件に恵まれています。 脳坂光一支配人の企画力で、毎週のようにさまざまな催しを行っている。



道の駅北川はゆま



人気の600円朝食バイキング



下阿蘇ヒトシ

「いいで」でなく目的地

「道の駅北浦」は、敷地内の各施設から九州で一番きれいな阿蘇ヒトシを望めるという、美しい景観を誇っています。出掛けついでに寄っていただくのには、キャンプ場のテントをリニューアルしました。ハンモックなども付け、こちらも新たな名物となるように期待しています。

「道の駅北浦」は、敷地内の各施設から九州で一番きれいな阿蘇ヒトシを望めるという、美しい景観を誇っています。出掛けついでに寄っていただくのには、キャンプ場のテントをリニューアルしました。ハンモックなども付け、こちらも新たな名物となるように期待しています。

「道の駅北浦」は、敷地内の各施設から九州で一番きれいな阿蘇ヒトシを望めるという、美しい景観を誇っています。出掛けついでに寄っていただくのには、キャンプ場のテントをリニューアルしました。ハンモックなども付け、こちらも新たな名物となるように期待しています。